

みずほCustomer Desk Report 2017/05/25 号(As of 2017/05/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.82 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.96	1.1179	125.15	0.9759	1.2957	0.7471
SYD-NY High	112.13	1.1220	125.40	0.9776	1.2999	0.7508
SYD-NY Low	111.49	1.1168	124.95	0.9730	1.2927	0.7443
NY 5:00 PM	111.49	1.1219	125.08	0.9730	1.2977	0.7503
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.59/8.94		△25RR	1.368	Yen Call Over	

NY DOW	21,012.42	74.51	債券市場	日本2年債	-0.1580	▲0.3bp
NASDAQ	6,163.02	24.31		日本10年債	0.0530	0.4bp
S&P	2,404.39	5.97		米国2年債	1.2818	▲2.1bp
日経平均	19,742.98	129.70		米国5年債	1.7852	▲4.1bp
TOPIX	1,575.11	9.89		米国10年債	2.2502	▲3.0bp
シカゴ日経先物	19,735.00	▲45.00	為替市況	独10年債	0.4030	▲0.7bp
ロンドンFT	7,514.90	29.61		英10年債	1.0720	▲1.0bp
DAX	12,642.87	▲16.28		豪10年債	2.4840	4.0bp
ハンセン指数	25,428.50	25.35	商品市況	USD/CNH	6.8744	▲0.0065
上海総合	3,064.08	2.13		ドルインデックス	97.24	▲0.11
USDJPY 3M Vol	8.76	▲0.03%		CRB指数	183.918	▲1.14
USDJPY 6M Vol	9.12	▲0.04%		NY金	1,256.50	▲2.40
EURJPY 3M Vol	9.16	▲0.08%		WTI	51.36	▲0.11
EURJPY 6M Vol	9.68	▲0.08%		Dubai Spot	53.06	0.97

東京	朝方のドル円は堅調推移となり一時111.99まで上昇した後、111.96レベルで東京時間オープン、節目となる112.00を上抜けできずに利益確定の売りが強まったこと等から111.74まで下落。その後は111円台後半でのみ合い推移となった。バーナンキ前FRB議長の「日本の金融政策は限界に近づいている」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的となった。引けにかけては米金利上昇と共にドル買いが強まると一時112.03まで上昇したが、112円台では戻り売り意欲も見られ111.89レベルで海外へ渡った。また、ムーティーズが中国の格付けを引き下げたことを受けて、中国経済の動向を受けやすい豪ドルが売られる展開となった。対ドルで0.7471レベルでオープンした後、中国格下げ報道を受けた0.74台半ばまで下落。その後もじり安推移が続き一時0.7443をつけた後、小幅に値を戻し0.7455レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は下落した。111.89レベルでオープン、米長期金利上昇に日米金利差拡大の思惑からドル買い円売りとなり、112.05まで上昇。その後、FOMC議事要旨の公表を控え様子見ムードの中、米長期金利下落と共にドル円も値を下げ111.79レベルでNYへ渡った。ボンドも下落した。1.2969レベルでオープン、特に注目される材料が無い中、一度はポジション調整に1.2999まで上昇するも、先日の英国爆破テロに対する警戒感等からボンドが売られ、1.2966レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は111円台後半での底堅い推移となり、111.79レベルでNYオープン、米長期金利の上昇を受けてドル円は112.00まで上昇したが、米4月中古住宅販売件数が予想を下回ると111.81まで反落。午後に控える5年債入札がFOMC議事要旨発表直前の実施となることから、軟調な結果となるとの思惑もあり米金利が上昇すると、ドル円は高値112.13まで上昇。しかし、好調な入札結果となったことや、FOMC議事要旨でややハト派と受け止められる表現も見られたことから、米金利が下落に転じるとドル円も安値111.49まで下落し、クロスした。FOMC議事要旨では、「大半のFOMCメンバー(most participants)が経済指標が想通りなら、まもなく追加利上げが適切となる(soon be appropriate)」と次回6月FOMC会合での利上げを示唆する表現や、足元のファンダメンタルズの弱さは「一時的(transitory)」との表現も多く見られたが、「数人は(a few)インフレの進展が減速するリスクを懸念」とのややハト派な表記もみられた。ユーロは1.1188レベルでNYオープン、米金利上昇と共にドル買いが強まると安値1.1168まで下落。しかし、1.11台後半ではユーロ買い意欲も強く、午後は米金利低下を受けたドル売りに高値1.1220まで反発し、1.1219レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月24日	06:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	09:00	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	15:00	独 GfK消費者信頼感	6月 10.4	10.2
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- 4.4%	-
	21:45	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	23:00	加 カナダ銀行翌日物貸出金利	- 0.50%	0.50%
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 5.57M	5.65M
5月25日	03:00	米 FOMC議事要旨(5月2日~3日)	-	-

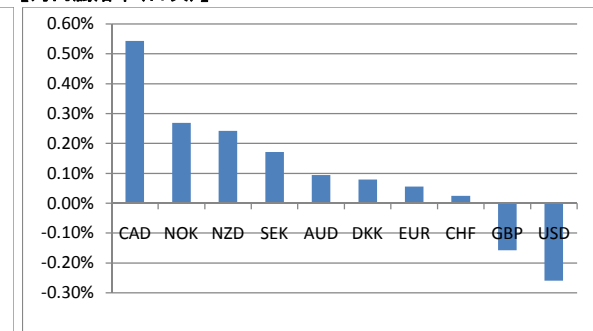
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月25日	07:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	17:30	英 GDP・速報値(前期比/前年比)	1Q 0.3%/2.1%	0.3%/2.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 238K	232K
	23:00	米 プレイナードFRB理事 講演	-	-
	-	OPEC総会	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1150-1.1300	124.50-126.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、上値の重い展開。米4月中古住宅販売件数が市場予想を下回ったことや、公表されたFOMC議事録がややハト派と受け取られ、ドル売り優勢となり、111.49円まで下落し、同レベルでクロス。本日のドル/円相場は、レンジ内で動意に乏しい展開を予想する。本日は主要経済指標の発表は予定されていない。手掛かり材料に乏しく111円を中心とした小動きの展開に終始しそうだ。